

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

		提出日	R7.6.23		
担当	課名	にぎわい創出課			
	グループ名	地域振興グループ			
記入者名					
(1)事業名		仙元山周辺花のまちづくり事業費			
(2)事業種別 (新規・継続)		継続		(3)事業性格 (政策・一般)	
政策事業					
(4)第5次総合振興計画での位置づけ		(5)予算・財源等の別			
①基本目標 活力ある産業のまち(産業の振興)		①会計区分 一般会計			
②大項目 観光		②財源区分 町単独			
③中項目		③予算科目 款 7 項 1 目 2			
④施策		④予算事業名 仙元山周辺花のまちづくり事業費			
(5)施策コード 6.4.0.0		掲載ページ	105	ページ	
(6)実施根拠		(7)総合戦略			
①事務分類(自治・法定受託) 自治事務		①総合戦略 (該当事業名) 無			
②根拠法令・条例等					
(3)事業期間 開始 H30 年 月から		終了 未定 年 月まで			
2 事業の目的・内容等					
(1)目的(何のために行うか)		(2)内容(どのような取り組みか)			
花卉を活用した誘客		・見晴らしの丘公園隣接地に桜や山モミジを植樹する。 ・地元ボランティアの協力のもと、道の駅おがわまち隣接農地に花卉を植栽し、開花時期に合わせてイベントを開催する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)		(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
・観光客(国内外) ・町民		来訪者を増加させることができ農林業や商工業の発展に繋がるとともに町への移住のきっかけにもなることから、町の活性化が期待できる。			
対象数	入込観光客数	単位	人		
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)					
点在している観光資源を結ぶ魅力ある観光ルートの整備					
(6)SDGsへの貢献					
  					
3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)					
(1)事業(内容) 名称		仙元山周辺花のまちづくり事業費			
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	
	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算			
(2)事業費	報酬	0	0	0	0
	報償費	0	0	0	0
	需用費	0	0	0	0
	役務費	0	0	0	0
	委託料	829	827	255	200
(内訳)	その他	0	0	0	0
	直接事業費合計	829	827	255	200
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	829	827	255	200
	合計	829	827	255	200
(4)補助金名					
(5)人件費					
投入職員数		0.2	0.2	0.2	0
年間人件費		1,526	1,508	1,504	1,554
(6)総事業費		2,355	2,335	1,759	1,754
サービス量(人)		494,799	699,362	693,587	587,363
サービス単価		4.8	3.3	2.5	3.0
(単位)		円/入込観光客1人当たり			

4 指標の検証		仙元山周辺花のまちづくり事業費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	目標値 R7年度目標値 780千人/年	目標値 千人	780	780	780
	実績値 千人	694	587		X
	達成率 %	89.0	75.3		X
	目標値 観光案内所来訪者数	人	22,000	25,000	25,000
	実績値 人	27,446	29,067		X
	達成率 %	124.8	116.3		X
(3)その他指標に現れない成果					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他()
妥当性	実施主体の妥当性	2	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他()
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	1	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
見晴らしの丘公園での植樹については、令和4年度で5年計画が終了した。道の駅おがわまち隣接地での花卉植栽は、令和6年度は継続したが、協力団体の高齢化等により今後の継続が不可能となった。道の駅おがわまちがリニューアルオープンしたため、今後の周辺整備と合わせて新たな仕組みで取り組めるよう検討する必要がある。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)	3 縮小・統廃合	道の駅周辺整備の中で、民間企業の経営手法を活用した取組を推進する。			
(2)二次評価 (政策推進課長)					
(3)最終評価 (町長)					